



連帯感と友情の絆を

保呂羽山で小五「宿泊訓練」

町内小学校五年生を対象とした「宿泊訓練」が、八月四日から三日間、今年も保呂羽山少年自然の家（大森町）を中心に付近一帯で行われました。

これは、自然の中での団体生活を通し、自立心や協調性を養うとともに、豊かな情操と創造力を身につけさせることをねらいとしています。

訓練には、五校から六十七人の児童が参加し、各校教職員、町教育委員会職員らが指導、世話にあたりました。初日、テント設営後に激しい雨に見舞われ、楽しみにしていたテント泊はできませんでしたが、期間中、キャンドルサービスやナイトハイク、フォークダンス、歌、果箱づくりや竹とんぼづくりなどで楽しみ、保呂羽の山一帯に明るい歓声を響かせていました。

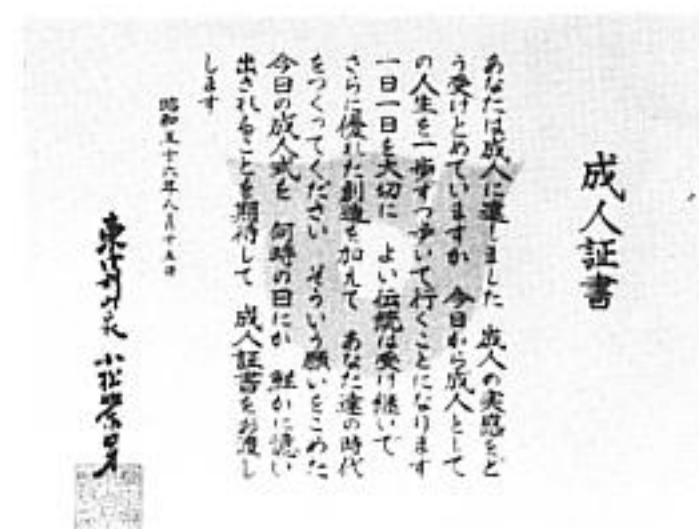
わずか三日間という短期間でしたが、親元を離れての共同生活は、子供たちに連帯感と新たな友情の絆を生み出し、さまざまな体験は、少年時代の良き思い出として脳裏に刻み込まれたようでした。

町の 生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心



責任ある社会人として新たなスタートを切った新成人者たち



成人証書



「郷土発展のため勇気と情熱を持ってたくましく歩む」と誓いのことばを述べる阿部さん

責任ある社会の一員

百四十三人が大人の仲間入り

成人おめでとう、責任ある大人として、一日一日を大切に、良い伝統は受け継ぎ、さらに優れた創造を加えて新しい時代を造っていただく——町成人式が、終戦記念日の八月十五日、町開発センターで行われました。

今年の成人式対象者は、昭和三十五年四月二日から三十六年四月一日の間に生れた人たちが百四十三人で、当日は百二十一人が出席。久しぶりに里帰りした人も多く、会場のあちこちでは、手を握り、肩を抱き合って喜び合ういつもの光景が見られました。

式典は午前九時に始まり、新成人者一人一人が点呼、紹介されたあと、代表の小松和弘君(下小路)に成人証書、佐藤文隆君(黒瀬)、小松孝子さん(下通)に記念品がそれぞれ

それぞれ町長から贈られました。

続いて、式辞に立った小松町長が、「自分の『自』は人間として独自の存在、『分』は分けるで全体の一部分の存在を表すものと考え、自分という人間の存在は、社会のうえで初めて成りたつものであるということが理解できると思う。責任ある社会の一

員として新たなスタートを切った皆さんも、これからの長い人生を、りっぱな成人者としてがんばってほしい」と激励。さらに、小野町議会

議長からお祝いのことばが述べられました。

これに続いて十二の前の阿部伸喜君が、新成人者を代表して「郷土の限らない発展のため

山・海の空気を胸いっぱい

身障者の臨海研修実施

国際障害者年にあたる今年、町では七月二十四日、鳥海山と象潟海岸で身体障害者臨海研修を行いました。

これは、障害を持つ人の社会への完全参加と平等の実現をめざし、ふだん家の中にと

じこもりがちな障害者とその家族に、新鮮な外の空気と雄大な自然に触れてもらおうと実施したものです。

当日は、七十三人が参加。一行は、福祉バスとマイクローバスに分乗し、鳥海ブルー



久しぶりの再会に旧交を温め合う光景があちこちで

め、当面する諸問題の一つ一つを解決に導く努力を重ねながら、さらにいっそうの発展を促すことが、私たち新成人者に課せられた重大責務であることを再認識し、一同決意を新たに、勇気を持ち、情熱を傾けてたくましく歩み続けて行く覚悟です」と力強く誓いのことばを述べました。

このあと、「私の一生を決めた一冊」と題し、豊富な体験を紹介しながら、人や物・事件との出会いの大切さを語りかける「児童文芸」編集長・作家の高橋宏幸氏(本名・博之、本町老方出身)の記念講演があり、正午前、式典はとどこおりなく終了しました。

引き続き記念写真撮影をすませた新成人者たちは、準備されたおにぎりをほおばりながら、近況報告や中学時代の思い出話に花を咲かせ、大人の仲間入りを喜び合っていました。

ラインを象潟側から山形県吹浦側に抜け、秋田県側に帰って象潟町民憩の家で昼食と懇親会。

雲間にそびえ立つ鳥海山の雄姿を眺め、オゾンいっぱい潮風を肌に感じながら一行は、真夏の陽の光を体いっぱいに浴び、山と海の新鮮な空気を胸いっぱい、晴れやかな笑顔の絶えない楽しい一日を過ごしました。

畜産・林業・防雪をテーマに

山村振興特別調査を実施

国土庁では、山村振興対策の一環として、未利用資源の開発、土地利用の高度化、社会環境の整備、労働力の調整

等について特に専門技術者による精密調査を必要とする地域を選定し、毎年、「山村振興特別調査(地域調査)」を行

島田線二四九・三ノメを改良

工事の安全祈り起工式

町道島田線改良工事の起工式が八月二十四日、島会館前で行われました。

同線は、島集落内を走る延長二四九・三ノメで、全幅五ノメ、車道幅員四ノメ(一部全幅四ノメ、車道幅員三ノメ)に改良するも

のです。式には、町、議会、工事関係者、地域住民、合せて三十人が出席。神事のあと、小松町長、請負業者の長谷山建設が鉄入れをして工事中の安全を祈りました。



工事中の安全を祈り鉄入れする小松町長

っています。

町では、町勢発展のうえから今年度、この特別調査を受けることにしました。

調査は、全国農業構造改善協会が国土庁から補助を受けて実施するもので、去る六月、同協会調査役の石島稲典氏が予備調査に来町のあと、先月、同協会から委嘱を受けた調査担当者が本調査に来町しまし

た。

調査担当者は、農林水産省東北農業試験場機械化経営研究室長の堀尾房造氏、岩手大学農学部教授の船越昭治氏、都市環境計画研究室長の関研二氏、それに石島氏の四氏です。

船越氏は「地域林業経営のあり方」、関氏は「冬期交通の確保について」効率的な除雪体制のあり方」を調査テーマに、八月四日から六日までの三日間来町、堀尾は「肉用牛振興のための草地開発の進め方と営農形態のあり方」をテーマに八月二十日・二十

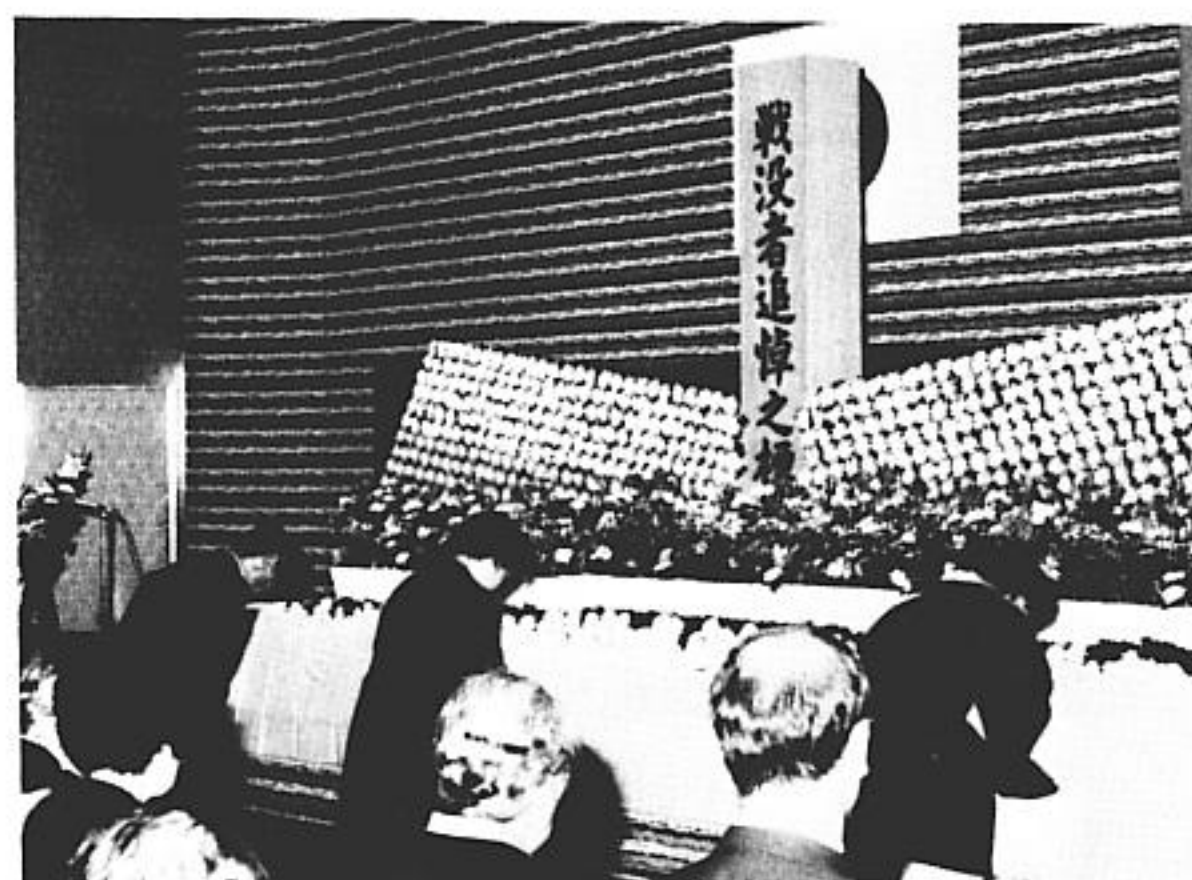


一日の両日来町し、それぞれ現地調査を実施しました。調査結果については、今月末までに中間報告会が開かれる予定で、最終結果報告は、本町だけでなく山村振興対策事例として全国に紹介されることになっています。

調査担当者の右から石島氏、船越氏、関氏、左上、堀尾氏

英霊よ安らかに

さまざまな思いを胸に献花



さまざまな思いを胸に戦没者の霊に献花

英霊よ安らかにー日清戦役以降の町出身戦死病死者二百十二柱の霊を悼む町戦没者追悼式は、遺族や来賓など約百三十人が参列して八月二十六日、町開発センターでしめやかに行われました。

式場正面中央には、国旗と町旗をバックに「戦没者追悼之標」の標柱が立ち、これを囲むように白菊・黄菊など色とりどりの生花が飾られました。

式典は午前十時に始まり、「君が代」斉唱のあと、追悼の標柱を前に戦没者の霊に一分間の黙とうが捧げられました。続いて町長が「今日の我が国の発展、アジア諸国の植民地からの解放、更に世界繁栄と安全に貢献する日本の姿は、諸士が身を

護国の柱とし悠久の大義に殉じた至誠の賜であることを確と信ずるものであり、恭々しく頭を垂れ、国民追慕の内に靖国の森に永えに鎮まりますことをお祈りする」と式辞を述べました。

このあと、来賓、遺族会代表、遺児代表、市郡遺族連合会長からそれぞれ追悼のことばが捧げられ、式場内のあちこちでは、遠い異国の地で戦火に倒れた夫や息子の面影を思い浮かべてか、うつ向き、目頭にそっとハンカチをあてる姿が見られました。

午前十一時過ぎ、冥想曲が静かに流れる中、参列者全員がさまざまな思いを胸に戦没者の霊に献花を行い、諸英霊の安らかな眠りを祈り、平和への誓いを新たにしました。

路整備

町道西山線改良工事

県が町に代わって施工

昨年、町単独事業として二二〇メートルを改良した町道西山線は、今年から県代行業として県が町に代わって工事を進めています。

同線は、農協ライスセンター横から西山、蔵新田の後ろを通って蔵に抜ける延長二、二一八・三メートルの路線で、二億五千六十二万二千円を投じ、全幅八・七五メートルに改良する。

車道幅員五・五メートルに改良するものです。起点から二六〇メートルは県営圃場整備とも関連して昭和五十二年に改良舗装され

ており、今年からは総延長の八割近い一、七三八・三メートルが町の負担無しで整備されるわけです。

今年度は、六千三百万円で六四〇メートルの改良工事が行われています。

同線が完成すれば、町道台山線と接続して館合蔵間のサブルートができることになり、生活圏の拡大や経済交流はもちろん、地域の開発発展に大きく貢献するものと期待されています。



西山線内

昨年、全線改良となった町道金山線は、今年から舗装工事が行われています。

同線は、舟木橋から杉森を通って沼に至る延長二、六九〇メートルの路線で、県代行業として去年昭和五十二年

今年から舗装に着手

舟木橋間の町道金山線

から四カ年の歳月と四億四千二百万円を投じ、全幅

七メートル、車道幅員五・五メートルに改良されたものです。

舗装工事は、町が事業主体となり、二分の一の補助を受け市町村道路整備事業として実施するもので、事業費



舟木橋付近

は六千五百万円を見込み、三カ年で完成したい計画です。

今年度は、一千五百万円で舟木橋から五二〇メートルを舗装しました。

また、同線は、本町から由利町に通ずる最短道路であり、子吉川がはらんとして二十六木橋(本莊市)が通行不能となった場合の横手、湯沢方面から本莊に抜ける回路としても大きな役割を果たすもので、一日も早い完成が待たれています。

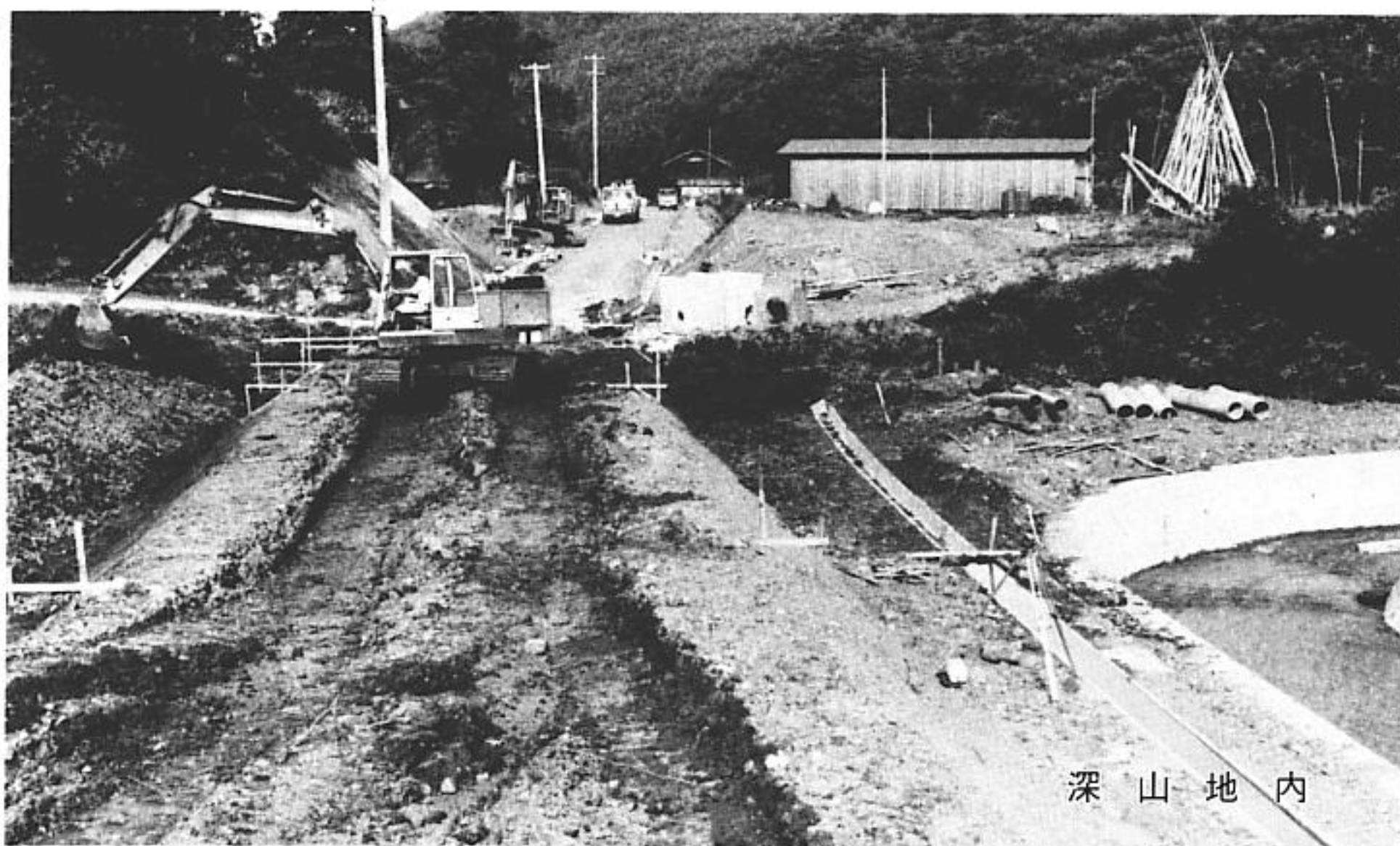
たばこの吸いからも
ゴミのうち



考えよう！みんなで
なくそうむだなゴミ

環境衛生週間 9月21日～27日

すすむ道



深山地内

今年で七八セトが完了

林道ボツメキ線開設工事

林道開設事業として昭和五十四年から全幅四回の工事を進めているボツメキ線は、今年、三千円で七六〇の開設工事が行われています。

同線は、泡の淵から八塩山腹の東由利水道ボツメキ水源を通って周治谷地に至る延長三、一〇〇の路線で、昨年までに全体の五三割にあたる一、六四七が完了しました。総事業費は九千三百万円を見込み、このうち六〇割は国・県からの補助金です。

また同線は、八塩線と同じく、産業及び観光開発に大きな可能性を秘めている八塩山麓に延びる路線であり、本来の林道としてのメリットだけでなく、町勢の発展に果たす役割にも大きなものがあり、関係者は一日も早い全線開通を待っています。



ボツメキ水源付近

町内で実施されている公共事業

- 1、国道一〇七号線改良事業 (蔵工区)
- 2、県道改良事業(羽後向田館合線) (仁賀保矢島館合線) (神岡坂部横渡線) (檜淵横渡線)
- 3、同
- 4、同
- 5、同
- 6、町道改良県代行事業 (西山線)
- 7、町道舗装事業 (金山線)
- 8、農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業(根小屋地区一期)
- 9、同 (根小屋地区二期)
- 10、同 (袖山地区)
- 11、広域付帯農道整備事業 (高村地区)
- 12、山村基幹農道整備事業 (新沢地区)
- 13、開拓地道路整備事業(八塩地区)
- 14、団体営農道整備事業(須郷地区)
- 15、同 (葎沢地区)
- 16、一般林道開設事業(ボツメキ線) (須郷地区)
- 17、過疎基幹林道舗装整備事業 (須郷地区)
- 18、県営圃場整備事業
- 19、団体営圃場整備事業(釜坂地区)
- 20、第二次農業構造改善事業
- 21、新農業構造改善事業
- 22、農村基盤総合整備事業 (略称・ミニ総バ事業)
- 23、農村総合整備モデル事業
- 24、土地改良総合整備事業
- 25、団体営草地開発事業

一部河川のつけ替えも

開拓地道路八塩線

金森沢地内(石高)を起点に、深山を通って町の最高峰七一三の八塩山腹・ヨシヤチ(不動滝)に至る三、〇五〇の八塩線は、今年、三千二百万円、三〇〇の改良工事と一部河川のつけ替え工事が行われています。

同線は、全幅五、車道幅員四に改良補装するもので、昭和五十四年に開拓地道路整備事業として改良着工されました。工事は、国と県の負担で行われ、昨年までに九〇九が改良されています。八塩山のふもとには、満々

町営村の木沢放牧場、八塩スキー場、東由利水道ボツメキ水源などがあり、同線の改良整備は、沿線住民の生活圏の拡大ばかりでなく、町全体の産業、観光開発、発展に大きな影響を与えるものと期待され、一日も早い完成が待たれています。

佐藤政次先生を講

日本一の長寿町にするには…

師に町文化講演会



本町では初めての「文化講演会」が八月二十日、本町法内新処出身で文学博士の佐藤政次先生（七十九歳、東京・武蔵野市住）を講師に迎え、町開発センターで開かれました。

この日、会場にあてられた集会室には、老人クラブ員や婦人会員らを中心に

百七十人余りが集まり、「日本一の長寿町にするには如何にすべきか」と題した約二時間の講演に真剣に耳を傾けメモをとっていました。

講演の中で佐藤先生は、健康づくりについて▽医師の診断による化学的療法▽医師と自己の診断による、食事療法・温泉利用・はり・灸・マッサージ・運動といった物理的療法▽マイライラ、くよくよしな

といった精神的療法——の三療法について、自分の研究結果に基づき、具体的な事例をあげて説明。最後に、鳥取県民謡の「貝がら節」を七十九歳とは思えない「張り」と「つや」のある声で高らかに歌いあげ「病気になる前からでは遅い。化学的療法・物理的療法・精神的療法をうまく利用し、自分の体は自分で管理して健康の保持増進に努め

なければならない。長寿の秘訣は、下を見ないで上を向いて歩くこと。つまり、一日一日をほがらかに楽しく生きていくことである。それには、民謡を歌い、踊ることがよい。ほがらかな暮らしが、ひいては健康で明るい町をつくるものである」と結んで、聴講者に深い感銘を与え、大きな拍手が送られていました。

交通安全の徹底を

総務長 官から メッセージ届く

みんなですすめる交通安全——交通安全「全国中山長官からのメッセージ」がキャラバン隊代表者から町長に

キャラバン隊」日本海コースの一行（担当・県交通安全母の会連合会）が、八月二十六日米町、朋楽荘前で、待っていた小松町長に中山総理府総務長官からの「地域における交通安全対策の推進について」のメッセージを手渡しました。

このキャラバンは、全国交通安全母の会連合会が総理府交通安全対策室の委託を受け、交通安全思想の普及を図り、交通事故防止に役立てようと全国七コースで行われているものです。

一行は、二十四日に県庁前を出発したあと、能代・大館角館・湯沢・本荘など県内三十七市町村を回り、この日午後、鳥海ブルーライン入口で山形県に引き継ぎしました。

佐藤先生（大琴小）に表彰状

学校保健振興に貢献

本町大琴小学校の佐藤トキ イ養護教諭は、八月十日、秋



田市文化会館で開催された第十六回東北学校保健大会・兼第二十六回秋田県学

表彰状を手に喜びの佐藤養護教諭

鈴木さんが東北学保大会で実践発表

本町大琴の鈴木博さんは、八月十日、秋田市文化会館で行われた第十六回東北学校保健大会全体会で、父兄を代表

校保健研究大会の席上、学校保健の振興に貢献したとして畠山芳郎秋田県教育長、並びに神馬恒成秋田県学校保健会会長から表彰状が贈られました。

佐藤教諭は、養護教諭として

て、学級担任教師と連携を取りながら、児童・生徒の知的理解の上にたった保健知識の高揚に努め、長年にわたり、本県学校保健の振興発展に献身されている功績が認められたものです。

表をしました。

鈴木さんは、家族全員が励行し、出稼ぎ先でも毎日欠かさることのない一日三回の歯みがきを通しての家族との心の結びつきや、大琴小学校で取り組んでいる保健活動、家庭・地域での健康づくり運動などを紹介。「学校と家庭が強く結ばれたなかで、健康で明るく幸せな家庭・町づくり到现在もがんばっていききたい」と結んで約二十分間の発表を終え、東北六県から集った約八百人の参加者から大きな拍手が送られました。



父兄を代表し、実践発表をした鈴木さん

東中が金賞に輝く

県吹奏楽中央地区大会で
コンクール



最高点で全県大会出場権を獲得した東中吹奏楽部員

この広い空に、美しい楽の音を、そしてすべての人に豊かな吹奏楽の贈り物を——東由利中学校吹奏楽部は、八月二十二日に秋田市の県民会館で行われた秋田県吹奏楽コンクール中央地区大会「Cの部（二十五人編成）」で、見事金賞に輝き、表彰状と優勝カップが贈られました。

見事な響きは会場いっぱいに集った人々を魅了し、堂々最高点で全県大会への出場権を獲得したものです。同校部員らは、夏休みも返

東中は、同校の三条正弘先生の指揮により、課題曲として「イリュージョン（鶴沢正晴作曲）」、自由曲として「序曲・バラの謝肉祭（オリバドッテイ作曲）」を演奏、その

新鮮な野菜を安く

農近ゼミ 青空市場を開設



好評を博した農近ゼミの“青空市場”

新鮮な野菜類を安く地元の皆さんに——町農業近代化ゼミナール（小松久安会長）の会員たちは、八月十一日、矢島信用金庫東由利支店前の空き地で“青空市場”を開き、好評を博しました。

これは、▽即売を通して実際の流通体験▽生産者と消費者の接点を見い出す▽安い野菜の提供——などを目的に今年初めて開いたものです。

この日即売したのは、すいか、枝豆、かぼちゃ、茄、大根、トウモロコシ、ジャガイ

モ、サトイモの八品目。値段は、いずれも市価より三割から五割安く、しかも新鮮とあって人気を呼び、この日一日で約十三万円を売り上げました。

会長の小松さんは、「初めてにしてはまずまずの成果だったと思う。ただ、▽開設時期▽販売品目▽PRの時期と方法——などに反省しなければならぬ点も多くあり、これらを改善しながら今後も続けていきたい」と話していました。

五種目で優勝

〓 郡市小・中学校水泳大会 〓

“東由利カップ”大活躍

第十三回本荘市由利郡小・中学校水泳大会が八月二十五

上して連日猛練習に励み、その成果がここに花開いたもので、九月四日から三日間県民会館で行われる全県大会での活躍が期待されるそうです。



日、本荘市民プールで行われ、小学校の部では、大琴小五年の佐々木範子さんが五〇〇自由形と一〇〇〇自由形の二種目、同小五年の佐々木良一君が五〇〇自由形をそれぞれ制したのをはじめ、大琴小が十種目に六位入賞を果たし、総合でも四位入賞の好成績を収めました。

一方、中学校の部では、東由利中三年の長谷山和幸君が一〇〇〇自由形、大活躍の東中（上）大琴小（下）の水泳部員

が五〇〇自由形をそれぞれ制したのをはじめ、大琴小が十種目に六位入賞を果たし、総合でも四位入賞の好成績を収めました。

形と二〇〇〇自由形の二種目を制したのをはじめ、四〇〇〇自由形と一〇〇〇自由形の二種目で準優勝を果たすなど各選手が力泳、「海の子」を尻目に六種目に上位入賞を果たし、本荘由利に“東由利カップあり”の大活躍をしました。

成績は次のとおりです。（マル内は順位）

【小学校（大琴小）】

（男子）▽五年五〇〇自由形 ①佐々木良一（41秒3）

▽五年一〇〇〇自由形 ②佐々木良一 ⑤遠藤育英

（女子）▽五年五〇〇自由形 ①佐々木範子（42秒8）

▽六年同 ⑤阿部真理子 ⑥五年一〇〇〇自由形 ①佐々木範子（1分41秒0）

▽五年五〇〇自由形 ⑤佐々木珠枝 ⑥阿部利加子

▽五年五〇〇自由形 ⑥鈴木貴子 ②二〇〇〇自由形 ⑤佐々木範子、阿部真理子、小野明子、阿部恵

【中学校（東由利中）】

（男子）▽一〇〇〇自由形 ①長谷山和幸（1分16秒4、三年） ⑤大日向幸博（二年）

▽二百〇〇同 ①長谷山和幸（2分59秒0、三年） ⑥阿部栄市（三年）

▽一〇〇〇同 ①阿部栄市（二年） ④高橋勝義（二年）

▽四〇〇同 ②阿部栄市（三年）、遠藤宣夫（三年）、長谷山和幸（三年）、大日向幸博（二年）

（女子）▽一〇〇〇自由形 ①大場智賀子（二年）

⑥大場智賀子（二年）

野球狂が雪辱果たす

第23回町社会人野球大会



野球狂が昨年の雪辱を果たし、二年ぶり三度目の優勝

お盆の恒例行事として定着した町野球協会の主催する町社会人野球大会は、今年も八月十六日から十八日までの三日間、町民・台山・横渡の三グラウンドで行われ、参加二十六チームが、連日熱戦を繰り広げました。

結果、決勝は、昨年と同じ役場と野球狂の対戦となりました。

試合は、雪辱を期す野球狂が二回に二本の長打で二点を入れて先行。その後両者譲らず、結局、野球狂が、二年連続優勝をめざし最終回に走者を出して食い下がる役場をふり切り、二対〇で二年ぶり三度目の優勝を果たしました。

準決勝・決勝の戦績と個人

賞は次のとおりです。

〈準決勝〉

役場 10000010101X
3
蔵口 100010000002

(延長八回)

野球狂 00010002X
3
ホンダース 0001000102

〈決勝〉

野球狂 020000002
2
役場 0000000000

〈個人賞〉

○最高殊勲選手

松岡英人(野球狂)

○最優秀投手

畠山孝夫(野球狂)

○首位打者

畠山長栄(野球狂)

○敢闘選手

阿曾文彦(役場)

嶽石文弥(役場)

小野昭美(ホンダース)

伊東一夫(蔵口)

○勝利監督

小松 敏(野球狂)

町出身者往来

八月十七日、新処出身で文学博士の佐藤政次氏が、町文化講演会での講演来町を機に来庁。

同氏は、日本大学において法律と史学を学ばれ、大学院博士課程を修了、文学博士の学位を授けられ、山口工業短期大学学長、旭川大学教授、土浦日本大学高等学校長、同中学校長、日本大学講師、東洋大学講師などを歴任。主な

町長日記

農免農道軽井沢線は、採択当時は、総工事費が三億四千二百万円でしたが、単価アップ、災害復旧等で、現在事業費は五億五千八百万円となっています。いま

工事中の幅野大琴間を完成するには、もう一億八千万円ほどかかります。御承知のように、明年度からは国の予算は厳しくなり、農道にしろよせが来そうというので、先月の三日、四日農林水産省と東北農政局に陳情に行ってきました。

大吹川の入口の災害は、九千二百万円の復旧費の査定となり、また、これから災害が起きそうと思われる手前の箇所は、緊急地すべり対策事業として二千二百万円の予算になりました。延長五、二六一、工事費八億五千万円、それに、根小屋線の延長は五、八六二、工事費は四億九千六

著書に、「暦学史大全」「日本暦学史」「平田篤胤の科学精神」「精説日本史」「民謡の旅」などがある。七十九歳。東京・武蔵野市住。

9月21日
9月30日

秋の全国交通安全運動

「安全は交通ルールとマナーから」

東田利の地名

= 15 =

ほぼ東西に長い沢であることから、北に面した所が多く耕地も少ない。秋には特に日当りのよくない所が多い。また石山や急斜面が多く地味もあまり肥えてないし、保水もよくないようである。したがって部落を貫流する祝沢川の氾濫がしばしばあり、そのたびに地域に住んでいる人々だけでなく、沢に関係ある人たちも、想像をこえる難儀な生活だったと思われる。

沢シリーズ④

祝沢・茂沢

ことであるが、この地名からは少なくとも好感を持たれない沢なのでなかったろうか。

だから、いやなことや悪いこととかかわりを拭い去り、気分を一新したい。そして災害などのないなごやかな土地、

かつては海であった証拠として、巻貝や二枚貝(ホタテ貝など)等の化石の露出している所があり、化石の宝庫でもある。

この祝沢はかつて「地獄沢・悪沢」と呼ばれておったとの

ことであるが、この地名からは少なくとも好感を持たれない沢なのでなかったろうか。

だから、いやなことや悪いこととかかわりを拭い去り、気分を一新したい。そして災害などのないなごやかな土地、

かつては海であった証拠として、巻貝や二枚貝(ホタテ貝など)等の化石の露出している所があり、化石の宝庫でもある。

豊かなくらしを望む、ひそかな・せつない願いをこめて「祝沢」としたとのことである。

茂沢は文字から考えれば、茂る・豊かで、めぐみの意味をもつことから、二重の良い意味になるが、祝沢と同じような願いのこめられた地名のように思う。

茂沢の隣の小字が「ガザ平」や「松倉」だが、ガザ・松ともに地味の肥えてない所によく生えることか

らすれば、やせ地であるがために「茂ってほしい沢」の意味が強いのではないか。(畑山昭一)

9月のこよみ

曜 日	行 事
1 火	
2 水	町づくり広報バス
3 木	町連合PTA研究集会
4 金	町づくり広報バス 町政座談会 (13.30 ~ 袖山分館)
5 土	秋の清掃指導日
⑥ 日	
7 月	自治会長研修 出稼者検診 (~10日)
8 火	町づくり広報バス 献血車来町
9 水	
10 木	町づくり広報バス (~12日)
11 金	三種混合予防接種
12 土	青年一泊研修
⑬ 日	
14 月	婦人科検診
⑮ 火	敬老の日
16 水	妊婦健康相談 ことぶき大学
17 木	婦人科検診 (~18日)
18 金	
19 土	
⑳ 日	
21 月	婦人科検診
22 火	
⑳ 水	秋分の日
24 木	婦人科検診
25 金	
26 土	
㉑ 日	
28 月	
29 火	9月定例議会招集
30 水	乳児検診
摘 要	30日 国保税 (2期) 納期限

おしらせ

町の概要

人口 6,331人
総数 3,118人
うち男 3,213人
うち女 1,448人
世帯数 148.51戸
面積 56.731 km² (現在)

消防士を募集

本荘地区消防事務組合

本荘地区消防事務組合消防本部では、消防吏員(消防士)を募集しています。

〔応募資格〕 満18歳以上、満28歳までの男子。

〔応募期限〕 昭和56年9月16日(水) 午後5時まで

○受験手続き等詳しいことは、消防事務組合消防本部総務課、又は東由利分署、役場住民課消防係にお問い合わせください。

ださい。

「国際障害者年」記念 作文・論文を募集

秋田県では、国際障害者年について、正しい認識と理解を深めるため、次により、県民の方々から、広く障害者福祉に対する意見・体験などの「論文・作文」を募集しています。

◎題材 「国際障害者年を考える」をテーマにしたもので、サブタイトルは自由。

◎原稿

・作文(小・中学生、高校生) 四百字詰原稿用紙四枚程度

・論文(大学生及び一般)

四百字詰原稿用紙八枚程度
住所・氏名(ふりがな)・性別・年令(学年)・学校名・職業を付記してください。

◎応募期限 昭和56年9月16日(当日消印有効)

◎送り先・問い合わせ先

〒010 秋田市山王四丁目一
一 秋田県福祉保健部
障害福祉課内「論文・作文」募集係 (電話〇一八八・六〇・一二五三)

通話料金

値下げと割引

電電公社

「遠距離電話は料金が高くて……」などと悩んでいらつしやる方に朗報です。今年八月から、遠距離電話の通話料が値下げ、日曜・祝日の通話料が割引になっています。

〔遠距離通話料金の値下げ〕

五百キ以上七百五十キまでの三分間の通話料は、昼間改正前は六百円だったものが五百二十円になり、七百五十キ以上では、七百二十円が六百

円にと変わりました。

〔日曜・祝日の割引〕

六十キを超える地域へのダイヤル通話は、昼間も夜間と同じく四〇割の割引となります。

ただし、日曜・祝日の一〇番を通しての通話については、割引がありません。

(東由利電報電話局)

歌会始のお題は「橋」

締め切りは10月12日

昭和五十七年歌会始のお題は「橋」と定められました。

◎詠進歌は、自作の歌で一人一首とし、未発表のものに限ります。

◎用紙は、半紙(習字用の半紙「白紙」がよい)とし、毛筆で自書してください。

(病氣等で自書できない場合は、他人が代筆しても差

し支えありませんが、代筆の場合は、すべてその理由を書いた別の紙を添えてください)

◎書式は、半紙を二つ折りにし、開いて右半面にお題と歌、左半面に郵便番号、住所、氏名(本名、ふりがなつき)、生年月日及び職業を書いてください。

◎締め切り 昭和56年10月12日(当日消印有効)

◎郵便のあて先

〒100 東京都千代田区千代田一番一 宮内庁

し、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。詠進歌は、小さく折って封入しても差し支えありません

◎以上について疑問があれば、直接、宮内庁式部職あてに、郵便番号、住所、氏名を書き、返信用切手をはった封筒を添えて、九月末日までにお問い合わせください。

社福だより

母子家庭の福祉増進に役立ててください——と、本荘市の佐々木栄雄さん(本町新町出身)から五千元、社会福祉の増進に役立てて——と、中通りカラオケ会(会員19人)から一万円が寄せられました。

慶弔だより

7月21日〜8月20日

〇こぶ声

小松 務 家の下 文二 四男
伊東 務 岩館 民雄 長男

畠山良子 寺田 政雄 長女
阿部 希 宮前 竹一 長女
佐藤義則 祝沢 晃 二男

〇結婚

長谷山 栄 地下の沢
林 久美 新町

・お悔み申し上げます

仙道カネヨ 新沢 70歳
伊東 フサ 岩館 82歳

お詫びと訂正

八月一日発行三二七号の十ページ「雨の中熱戦展開」の記事中、ソフトボール分館対抗の成績が「①老方B ②玉米 ②老方B」の誤りでした。同号十二ページ「町出身者往来」の記事中、「畠山亮二郎氏(元警視正、……)」「五十年に警視正に昇任。昭和五十六年三月に勇退されるまでの間……」となっていました。同号十三ページ「うぶ声」の記事中、「阿部将人蔵茂長男」となっていますが、「阿部将大……」の誤り、高橋元太 松柴 誠一 二男」となっています。誤り訂正します。

ひろば



連帯の輪○○○○○

このような、おとなしい子供が、学校内で暴力をふるうとか、家庭内で母親に暴力をふるうといったことがマスコミで話題になります。

今回はこうしたことについて、子供の発達段階における家庭の役割について考えてみたいと思います。

まず健全な家庭^づから…

飲むことができませんが、人間の乳児は一人歩きまで約一年もかかります。そして、保育者である母親によって生きてゆくために必要な生活上のいっさいの世話をうけながら育てられます。この過程で重要なのは、母親が乳児の求める



親睦を深め仲間意識を高めあった下郷・大森分校交流会

ものをじゅうぶんに受けとめてやりながら、ひとりできけるようにはげまし見守つてやることです。

小学生時代

小学生時代全体を通して、家庭のしつけで問題になるのは、お手伝いのしつけです。最近では家事の合理化や、親の勉強中心主義でお手伝いをさせることもなくなっているようですが、家族が一緒に働く経験は貴重であり、こういう中で子供が親の生活態度や生き方を学びます。

中學生時代

中学生時代は青年期のはじめにあたり、まだ自己の価値感についてわからず、道徳的にも不じゆうぶんな状態にあります。しかし、からだの発達は男女とも成熟しおとなに

本莊高校
下郷分校

大森分校生と交流

仲間意識を高め合う

本荘高校下郷分校（小野弘三教頭、生徒数一二四人）では、八月二十一日、町教育委員会と提携し類似環境にある県立大曲農業高校大森分校（生徒数七九人）と交流を行い大きな成果をあげました。

これは、幼少時から同一地域で育ち、ともすれば小さな

発行 秋田県東由利町役場

毎月一日発行 一部20円

印刷 K K本間印刷所

なるため精神的な面と肉体的な面の不安定が時として、衝動的な行動に走らせることもあります。したがって、こういう時期には、友だちと一緒にスポーツや遊びに、趣味や特技を生かし熱中する機会をつくってやる必要があります。

高校生時代

高校生になると子供は、学校のことをはじめ、その日の出来事を親に話さなくなります。精神的にも肉体的にも安定を保つようになり、親や教師に対する反抗も強くなりま

小さな節約で
大きな省工ネ



す。この反抗は自己の不利益もかえりみない又、処罰を恐れないうるのですが、一方的におさえつけないで話し合い、理解してやることによって、おとなの信頼に応えるため子供自身が努力するのです。

しかし問題によつては、親だけ、教師だけで解決できない場合もあり、とくに親にとつて頭のいたいのは教育問題と恋愛問題です。

家族生活

現代の青年期の複雑な精神構造と、親の育ってきた青年期のそれとは大きな変化があり、これが世代間の断絶を大きくしているとも言われます。こういった問題の解決についてはいはやく専門の機関に相談し、事故を未然に防がなければなりません。

子供は知らず知らずのうちに親や家族の影響をうけて成長しますが、それだけに子供の望ましい発達のためには、子供の育つ家庭が健全で、家族の間に愛情のある人間関係が存在することがまず必要です。

家庭教育についてご相談の方は公民館にご連絡下さい。毎月曜日午後より相談室を開設しております。（個人の秘密は守ります。）

おしらせ

生活文化祭

今年度の町生活文化祭は来る11月1日～3日までの3日間、有鄰館・朋楽荘・公民館を会場に行います。

作品の募集は次のと

おりです。
写真・衣服手芸・華道・書画・陶芸・愛石・老人作品・俳句

法内
分館

秋まつり

とき 9月13日(日)
会場 法内分館
テーマ 故郷・健康
内容 演芸会・写真展・
血圧測定